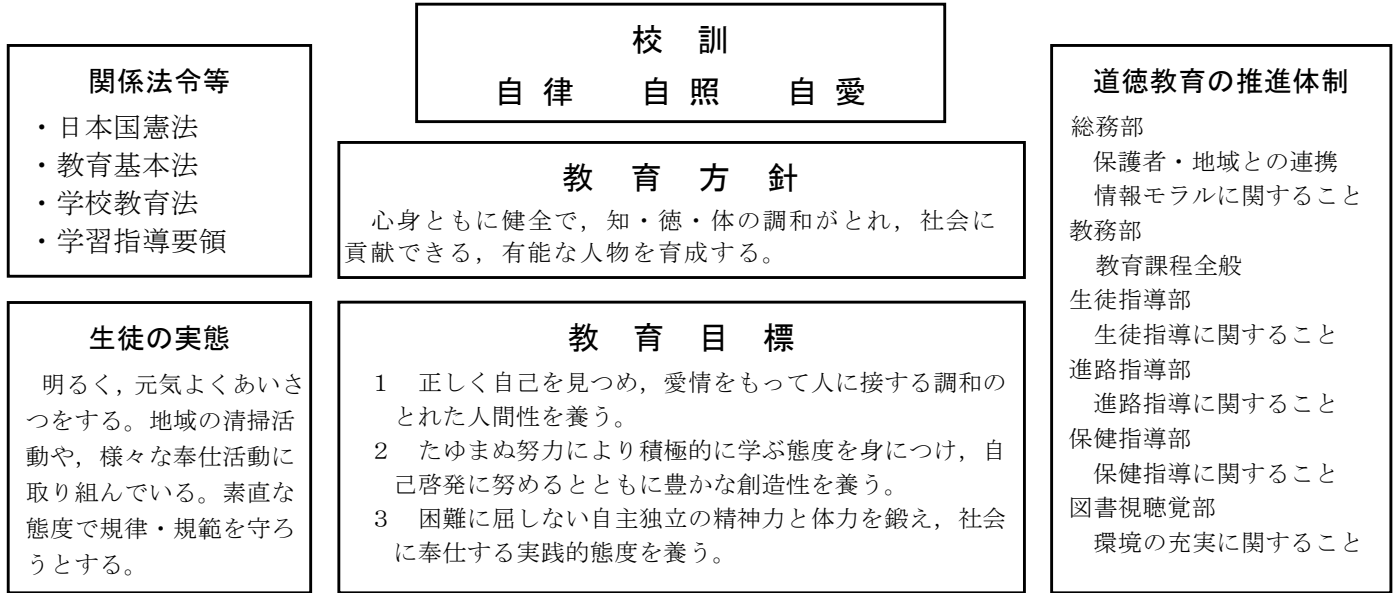


平成26年度道徳教育全体計画

宮城県宮城広瀬高等学校



道徳教育の重点目標

自己の在り方生き方について正しく見つめ、愛情をもって人に接する調和のとれた人間性を養う。

学年目標

1 学年 高校生としての自覚を持ち、自ら考え積極的に行動する力を養う。
正しく自己を見つめ、愛情を持って人に接する人間性を養う。

2 学年 中堅学年としての自覚を持ち、規律・規範を重んじる姿勢と、将来に向けて積極的に行動し、学習する力を養う。

3 学年 最高学年としての自覚を持ち、よりよき社会人を目指して積極的に自己啓発に取り組む力を養う。

各教科・科目、総合的な学習の時間、特別活動における関連

国語：優れた作品に触れ、人間としての望ましい生き方について考える。

地公：人間としての在り方生き方について自覚を深め、平和で民主的な公民としての資質の育成を図る。

数学：直観力・洞察力や論理的な思考力を培うとともに、合理的に判断する態度の育成を図る。

理科：生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る。

保体：規律ある集団行動を通して、公正な立場で協力する態度を養う。

芸術：優れた作品を鑑賞し、表現活動や創造活動を通して豊かな情操を養う。

英語：外国の文化や生活様式を理解し、日本文化の伝統や風土に対する認識を深める。

家庭：健全な家庭・社会生活の在り方について学び、家庭や家族への愛情を育てる。

情報：情報モラルと情報活用実践力を身につけさせ、情報社会に主体的に参画する態度の育成を図る。

総合的な学習の時間：様々な活動を通して、自己の在り方生き方について見つめさせる。

特別活動：学級活動や学校行事などの集団活動を通して、望ましい人間関係を育てる。

生徒指導等における関連

- 1) 基本的生活習慣の確立
- 2) 特別活動を通しての自己実現
- 3) いのちの大切さの理解
- 4) 公共の精神や規範意識の定着

学校の環境の充実

朝読書の推進および掲示物の工夫により、言語環境を整える。

家庭・地域・異校種との連携

多様なコミュニティとの連携を通じて多彩な人間関係の構築を図り、他者への信頼感の獲得と自己価値感・自己尊厳感を培養する。